

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大同生命広島ビル新築計画	階数	地上14F、地下2F
建設地	広島市中区紙屋町1丁目2-10、2-11、2-12、2-27、2-28、2-	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,241 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年12月9日
敷地面積	864 m ²	作成者	浅野英治
建築面積	647 m ²	確認日	
延床面積	10,208 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q のスコア = 3.1
Q1のスコア = 3.5	Q2のスコア = 3.4	Q3のスコア = 2.2	
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR のスコア = 3.8
LR1のスコア = 4.2	LR2のスコア = 3.6	LR3のスコア = 3.5	

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.6		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 1.8	スコア = 3.6
設計の計画段階に配慮した事項 北面以外Low-E複層ガラスを採用。// 高効率パッケージエアコンの導入、明るさセンサーによる照明制御等によりZEB Orientedを達成。// 節水便器、リサイクル材、地球温暖化に配慮した断熱材・消火剤を採用。// 高効率設備の採用による省エネルギーを実現し運用時のCO₂排出を削減。	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 耐震性向上、制振装置の採用。// EPS、OAフロア等により仕上材を痛めることなく電気配線、通信配線を修繕、更新可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される